

授業科目名 <英訳>	西南アジア史学(実習) West Asian History (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 稲葉 穰					
配当 学年	3回生以上	単位数	1	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	金2	授業 形態	実習	使用 言語	日本語
題目	西南アジア史学実習										
【授業の概要・目的】											
前期の実習（井谷鋼造教授担当）の成果を踏まえた上で、イスラーム圏に関する歴史研究において利用できる様々な情報へのアクセスの方法について解説し、適宜受講生に取り組みさせる。とくにインターネット上で利用できる資料の紹介、検索方法や、プレゼンテーション・ファイルの作成、論文の書き方など、基礎的な知識の習得と、専門的研究の間の橋渡しの授業を行う。											
【到達目標】											
イスラーム圏を対象とする歴史研究に関して、多様な研究手法のあり方が身につく。京都大学所蔵、あるいは京都大学以外に所蔵されている資料の利用、インターネットを用いた情報収集の方法などを理解し、本格的な研究を開始する準備を整える。											
【授業計画と内容】											
以下の順に解説し、毎回簡単な課題に取り組みさせる。 (1) インターネットを利用した情報収集のあり方 (2) 非ローマン、非漢字かな文字を用いたデータ作成、整理の方法 (3) 研究発表の手法1：レポートのまとめ方 (4) 研究発表の手法2：プレゼンテーションの方法 (5) 歴史研究の多様な方法について なお、評価のために最終課題として授業内容に基づいたレポート作成を求める											
【履修要件】											
前期に同名の科目を履修していることを条件とする。前期または後期のみの履修では卒業要件の単位としては不十分になるので十分注意すること。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
出席状況（50点）と平常点（50点）による。平常点は取り組む姿勢および課題の達成度による。											
【教科書】											
授業の際に必要な資料を配布する。											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学習（予習・復習）等】											
毎回の予習は必要ない。ただし、最終的な課題は授業時間以外で取り組むことになる。											
（その他（オフィスアワー等））											
特になし。  オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											